

門信徒各位

令和5年7月
願隨寺住職 河合正樹
願隨寺総代一同

趣意書

親鸞聖人750回忌御遠忌法要

鐘楼堂新築工事・内陣塗箔、巻障子工事記念事業お願い

「大悲に生きる人にあう 願いに生きる人となる」の基本理念の下、

宗祖親鸞聖人750回忌御遠忌法要を第33代真覚門主の御下向を賜り、
2026（令和8年）6～10月頃、門信徒の皆様のご参詣のもと、賑々しく
厳修したいと存じます。それに先立ち、本年より記念事業として鐘楼堂新築工
事、内陣前面塗箔と巻障子新調を考えております。また、次世代を担う方々との
繋がりを結ぶことが重要であり、新しい時代の聞法活動を中心に進めてま
いります。

先人は、幾多の激動の時代を乗り越え、はかり知れない命との出遇いの中で、
南無阿弥陀仏のみ教えを相続し、命をかけて守り、私たちに混迷の時代を生き
抜く力を伝えていただいたのであります。環境厳しき折から、門信徒の皆様には
物心両面にわたりご負担をおかけすることになりますが、この勝縁を新しい
時代への第一歩と位置付け邁進してまいります。事業遂行にかかる御懇念を賜
りますよう重ねてお願い申し上げ、御遠忌法要の趣意といたします。 合 掌